

## メキシコ選挙(2018年7月)

～野党・MORENA のオブラドール氏が最多票を獲得し、新大統領に～

2018年7月3日

### お伝えしたいポイント

- ・ 大統領選挙では、野党・MORENA のオブラドール氏が最多票を獲得し、新大統領になる見込み
- ・ 議会選挙でも、MORENA 率いる政党連合が上下両院で勝利する見通し
- ・ 選挙後のメキシコ・ペソは落ち着いた動き。今後は新政権の政策運営や NAFTA 再交渉に注目

### <大統領選挙では、野党・MORENA のオブラドール氏が最多票を獲得し、新大統領になる見込み>

7月1日(現地)、メキシコで大統領選挙と議会選挙が実施され、各種報道によると大統領選挙では、野党・国家再生運動党(MORENA)のオブラドール氏が最多票を獲得し、新大統領に就任する見通しとなりました。

メキシコでは現政権の政治汚職や治安対策の遅れ、米国のトランプ政権に対する弱腰な姿勢などから国民の不満が高まっていたようですが、オブラドール氏はこうした問題を痛烈に批判するとともに、米国に対しても強硬な姿勢で臨むと主張してきたことで、支持を集めました。

議会選挙でも、MORENA 率いる政党連合が上下両院で勝利する見通しで、特に下院では過半数に達する見込みとなっており、本格的な政権交代が確実視されています。

### <選挙後のメキシコ・ペソは落ち着いた動き。今後は新政権の政策運営や NAFTA 再交渉に注目>

今回の選挙速報を受けて、メキシコ・ペソが上下に振れる場面もありましたが、足元は落ち着いた動きとなっており、市場はこの結果を冷静に受け止めたようです。今後については、新政権の政策運営や NAFTA(北米自由貿易協定)再交渉に注目が集まると考えています。

オブラドール氏は、現大統領が進める対外規制緩和などの構造改革に逆行する保護主義を志向する姿勢を示しており、メキシコからの資本流出などが市場では懸念されています。また、年金の増額やインフラ投資の拡大を提案する一方で、増税は行わないとしており、財政問題への懸念もあります。オブラドール氏がメキシコ市長であった際には、現実的な中道姿勢を維持したという評価があることから、今後は現実的な政策運営が行われると考えており、その動向を注意深く観察していきます。

NAFTA 再交渉については、貿易赤字の削減を目標として掲げ、メキシコおよびカナダに対して譲歩を迫る米国と、大幅な変更を望まないメキシコおよびカナダとの温度差は大きく、協議は難航しています。オブラドール氏は、米国に対して強硬な姿勢で臨むと主張してきたことから、今後の対米関係や NAFTA 再交渉の動向次第ではメキシコ・ペソが大きく変動する可能性も想定されます。

その他、金融政策については、オブラドール氏は中央銀行の独立性を尊重すると選挙後に述べています。メキシコ銀行(中央銀行)はインフレに対処するために適時利上げを行うなど、その金融政策姿勢は金融市場からの信認が厚く、そのような姿勢が今後もメキシコ・ペソの下支え要因になるとみられています。

以上

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

## <ご参考> 当社の関連リサーチ

### ◇マーケットレター

- ・メキシコ金融政策(2018年6月)～インフレリスクに対応するためメキシコ銀行は0.25%ポイントの利上げを実施～(2018/6/22)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180622\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180622_1.html)
- ・メキシコ金融政策(2018年2月)～メキシコ銀行は0.25%ポイントの追加利上げを実施。次回さらに利上げの可能性も～(2018/2/9)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180209\\_3.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180209_3.html)
- ・メキシコ金融政策(2017年12月)～メキシコ銀行は0.25%ポイントの利上げを実施。引き続き NAFTA 再交渉の進展に注目～(2017/12/15)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20171215\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171215_1.html)
- ・メキシコの地震の状況と金融市場への影響について(2017/9/20)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170920\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170920_1.html)
- ・メキシコ金融政策(2017年8月)～政策金利は据え置き、NAFTA 再交渉に引き続き注目～(2017/8/15)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170815\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170815_1.html)
- ・メキシコ金融政策(2017年6月)～利上げは今回で打ち止めに視野に。今後は NAFTA 再交渉の行方に注目。～(2017/6/23)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170626\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170626_1.html)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management